

はりうす



小樽市立張碓小学校



<教育目標>

- 学習にはげむ子ども
- 礼儀正しい子ども
- 健康な子ども

第8号

令和7年10月30日

個性の交わりが新しい自分を創る

小樽市立張碓小学校長 増田 昭雄

10月25日に今年度の学習発表会を開催いたしました。子どもたちは、「だれもが主役の学習発表会 ～最高のステージに～」のスローガンのもと、学級のみんなと力を合わせて一生懸命練習に取り組み、当日は保護者並びにご来賓、地域の皆様に、自分たちの発表をお見せすることができました。学習発表会というステージで、子ども一人一人が「主役」として、最高の輝きを見せる姿に、皆様から惜しみないたくさんの拍手をいただき、誠にありがとうございました。

さて、秋も深まり、つい先日まで濃緑だった木々の葉もふと気づけば様々な色に変化しています。赤や黄色、オレンジなど一枚一枚の葉がそれぞれの色を主張しながらも、互いに重なり合って美しい景色を作り出す様子は、一人一人が持つ「個性」に通じるものがあります。

普段、葉が緑色に見えるのは、葉の中に緑色の色素がたくさんあるからです。しかし、秋になり気温が下がって日照時間が短くなると、木々は冬に向けて準備を始め、今まで隠れていた黄色い色素が目立ってきます。さらに、もみじなど木によっては、太陽の光を浴びることで、新しく赤い色素が作られます。

この色の変化は、子どもたち一人一人の成長と重なる部分がたくさんあります。子どもたちは、それぞれの考え方や好みなど違った色の個性を持っています。そして、学校生活の中で、様々な友達と出会い、話し、協力し合うことで、それぞれの個性が交わり、自分の中の秘められた才能や関心が新しく花開いたり、互いの個性が影響し合い、新しい色が生まれるように可能性が広がっていきます。

紅葉が多くの色を重ね合わせることで、一層美しい景色を作り出すように、子どもたちにも友達との様々な交流を通して、互いに高め合うことで新たな自分を発見し、より魅力的な「自分の色」を身につけていってほしいと願っています。

1年生



「くじらぐも」「やくそく」

2年生



「お手紙」
「友よ～この先もずっと」

3・4年生



「張碓忍者学園なかよし・元気組!!」

5年生



「リモートコントローラー」

6年生



「心の色」

「食育」について考え、学ぶ

9月25日(木)に桂岡小の太田栄養教諭が来校し、各学級で食育の授業を行いました。

1・2年生は「食事のマナーについて考えよう」を課題として、どうして食事のマナーがあるのか絵を見て考えながら、望ましい食事のマナーについて学びました。

3・4年生は「食べ物の3つのはたらきについて考えよう」を課題として、給食献立表を見て、体をつくるもとになる、エネルギーのもとになる、体の調子を整えるもとになるという食べ物の3つのはたらきについて学びました。

5・6年生は、「日本の食と深い関わりのあるお米と大豆の関係を考えよう」を課題として、米と大豆のおいしい組み合わせを出し合い、米と大豆の深い関わりについて理解を深めました。



薬物の恐ろしさについて学ぶ

～薬物乱用防止教室

9月29日(月)に小樽警察署生活安全課より講師をお招きし、6年生を対象に薬物乱用防止教室を行いました。

たばこやお酒、麻薬などの依存性と危険性について、画像や説明などから学び、理解を深めることができました。未成年は大人に比べて、アルコール依存症になるまでの期間が短く、回復しにくいことや麻薬はテレビやネットのニュースの世界のことでなく、SNSを通じて売買されているという説明を聞いて、子どもたちは驚いていました。授業の最後に、子どもたちからの質問を受け、ていねいに分かりやすく答えてくださり、貴重な学びの機会となりました。



クラブ活動で楽しいひととき

9・10月のクラブ活動では、体育クラブは、野球型ゲームやバドミントン等の球技を行い、チームやペアでゲームを楽しみました。家庭科クラブは、ミシンでエコバッグの作製やクレープづくりに挑戦しました。日常生活に生かせる実用的な活動でした。科学クラブは、ホウ砂水溶液等でスライムづくりやプログラミングを活用してロボットを動かす活動に挑戦し、身近な科学に触れることができました。



なわとび検定

体力向上の取組の一つとして「なわとび検定」があります。高学年が低学年に教えてあげたり、跳んだ回数を数えてあげたりするなどたてわり班を生かした取組です。「なわとび検定」は、基本的に毎週水曜日の中休みに実施しています。



後期児童会認証式

10月1日(水)に後期児童会の認証式を行いました。増田校長から児童会長と各専門委員長に認証状が渡されました。その後、後期児童会を代表し、児童会長より「前期の活動を引き継ぎ、みなさんの力を借りて、新しいことに積極的に取り組んでいきます。」とあいさつがありました。

増田校長から、「自分たちの力で学校生活をより楽しく、よりよくするために、みんなの意見を取り入れてがんばってください。」と励ましの言葉がおくられました。がんばりましょう！



いじめアンケートの結果について

9月中旬から10月上旬にかけて、標記のアンケートを行いました。「嫌な思いをしたことがありますか」という設問に対し、「ある」と答えた児童は全校で11名でした。その子どもたちから聞き取りを行い、一人ずつ解決への手立てを取ってきました。内容として、嫌なことを言われる、無視される、いじわるをされる、仲間に入れてくれないといったものが多くありました。

子どもたちのわずかな変化に気づき、迅速に対応することにより、学校として「いじめ見逃しゼロ」を目指します。今後も全職員で注意深く見守っていきます。気になることがありましたら、遠慮なくご相談ください。

端末を活用した授業改善の取組

10月1日(水)に一人一台端末(クロームブック)の効果的な活用に向けて、市内の小学校を順番に回る3人の教員が来校しました。

全学級の国語と算数の授業に入り、担任と連携しながらクロームブックを活用した学習場面を設定して授業を進めました。今後も多くの教科等の学習で効果的な活用ができるよう授業改善の取組を進めていきます。



6年生 外国語専科 中瀬 雄登 教諭が着任されました ～ よろしくお祈いします！

銭函中 小俣 萌恵 教諭の後任として、中瀬 雄登 教諭が着任されました。10月14日(火)より、外国語の授業を行っています。これからどうぞよろしくお願いいたします。

